

杉並区立中瀬中学校 学校運営協議会だより【令和2年12月】

中瀬中学校 学校運営協議会

会長 篠原 宜武

「学校運営協議会だより」(月刊)のお届けにあたって

杉並区では区立小中学校全59校に、令和2年4月で「地域運営学校(CS=コミュニティ・スクール)=学校運営協議会制度の導入」が終わりました。当校は令和2年10月から導入9年目に入り、校長先生を含め11名が年間8~10回ほど、「地域に開かれ地域に支えられた学校づくり」のための集まりを持っています。話し合いの内容は中瀬中学校HPでご覧頂けますし、年一回「学校運営協議会だより」を発行しておりますが、この度「学校運営協議会だより月刊」(集まりの無い月は除きます)をお届けさせていただくことに致しました。学校運営についてご理解の一助となれば幸いです。

令和2年12月7日 学校運営協議会概要

1. 校長先生より概略次のような報告があり、意見交換を行いました。

- ① 近隣の小学校や施設、埼玉県中学校のコロナ集団感染などのニュースの中、幸い当校での発生は今のところありません。気が抜けない状況が続き年明けは更に厳しいと予測せざるを得ず、教育委員会の方針・他校の様子等も見ながら最大限の注意で学校運営・諸行事を進めていきます。
- ② 生徒会が進める「自分たちの学校を自分たちが作る、土台プロジェクト」が生徒会総会で総括されます。「新しい中瀬中にふさわしい生徒」アンケート(3年生)に寄せられた「自ら考え行動する」「ルールを守り思いやる」などに関連する生徒達の思いを、学校運営に活かしていきます。
- ③ 杉並区教育調査では、コロナ禍にも拘わらず概ね生徒からの評価は上がっていますが、分析結果を詳細に見ながら昨年より下がっている項目等への対応を積極化します。3年生の「学校での将来や進路を考える機会の多さが進路選択の参考になる」が高評価になり心強さを感じています。
- ④ 自由記述欄には肯定的意見が多くありました。意見の中の「コロナで昼休みが少なくストレス溜まる」については、放課後の委員会活動などの生徒の活動の時間の確保(2・3年生が毎日6時間授業)のためにやむを得ず朝学活と昼休みを短縮しています。体育大会や音楽発表会など、制約条件の中での成果は評価できます。制約下での頑張りと成果に生徒達も自信を持ったようです。
- ⑤ 校舎改築検討委員会の議論進捗状況報告・・省略(詳細は「改築ニュース」を参照ください。)

2. 関連して概略以下のような意見交換や確認が行なわれました。

- ・コロナ感染が出た場合(誰にも感染の危険性があります)差別が生まれない配慮など、十分なる緊張感と指導が必要になります。他地域の感染発生学校での「配慮の事例」もあるようです。
- ・部活再開は、区教育委員会が定める基準をもとにルールを決め、慎重に進めています。
部活の種類により感染リスクの多寡が有り、それを十分認識してのきめ細かい注意継続が必須です。
- ・前教育長が提唱された「学校の棚卸」というテーマが有ります。過去から継続してきた全ての行事などの思い切った見直しです。図らずもコロナが見直しの強力なインパクトになりつつある・・という側面も有りそうです。感染に最大限の注意を払いつつ新しい試み・・という期間が続きそうです。

以上

(CS広報部)